

ベストクラス選定理由書

作成者：B班（小川聖雄，阿曾奈生，松村宜彰，吉本昌弘，藤木裕一）

科目名称 初等社会科教育法（Cクラス） （担当教員名：大西 慎也〔京都ノートルダム女子大学講師〕）	
課程：学部・大学院（修士・専門職）	開講時期：前期・後期
授業形態：講義	授業規模：61人
インタビュー対象教員名 大西 慎也 （実施日時：平成29年8月8日（火）13:10～14:30；実施場所：総合研究棟3階「小会議室」）	
インタビュー対象受講者名 江口 真優，上堀内八雲 （実施日時：平成29年8月8日（火）13:10～14:30；実施場所：総合研究棟3階「小会議室」）	
選定理由 本科目は、小学校社会科の授業づくりにおいて、その基礎となる理論を学ぶために設定されている。受講生としては、社会系コース以外の多様な学生を対象としている。受講生は初めて社会科教育にふれるため、基礎的な知識をほとんど有していない。そのため、社会科の授業を通して、どのような子どもを育てるのかということを中心として、理論や内容を系統的に理解し、それらを用いて、どういった授業が必要なのかを検討・作成するカリキュラム構成となっている。授業形態としては講義形式が主で、受講生からは、「面白い」、「わかりやすい」といったコメントがある。また、教員としての心構えが身に付く内容であり、担当教員と学生の間でかたい信頼関係があることが見受けられる。学生インタビューの中で、単位取得のためでなく、これから教員として方向性を位置づけてくれた授業であったという声もあり、この授業に対する充実度が非常に高い。充実した学びを成立した要因として、以下の特長が挙げられる。 ①担当教員の熱意 社会科を通して、「考える子ども」を育てることを目標とした授業づくりのために、どういった手立てがあるのかを熱意をもって紹介している。例えば、子どもに提示するのと同じ問いを受講生に与え、考える授業を体験させている。また、担当教員の体験談を例に挙げつつ、私生活でも社会科を意識することの重要性を説いている。 ②学生にとって良きアドバイザー 全体的に講義形式であるが、学生の声を拾いながら、授業を進めている。具体的には、毎回書くリフレクションカードを見て、すべての質問や疑問点に答えている。また、指導案を作成する際には、教材選びやどういった授業の展開にするかなど、自身の経験を踏まえて、具体的なアドバイスを行っている。そして、教育実習や現場として働く際にすぐに活かせる工夫を行っている。これらのことが、教員と学生の間で、強い信頼関係が築かれる基礎になっている。	